

# 布佐東部地区復興通信

復興  
ABIKO  
第25号

## 第11回布佐東部地区住民説明会を 開催しました

8月3日(日)午前10時より、近隣センターふさの風にて、布佐東部地区住民説明会を開催し、「布佐東部地区復興事業進捗状況」と「市街地液状化対策事業計画の策定状況」についてお知らせしました。説明会の主な内容は、次の通りです。

### ◎布佐東部地区復興事業進捗状況

- ◆ 改良住宅の建物工事が完了し、全ての住宅が、7月中に入居できるようになりました。
  - ◆ 改良住宅周辺道路の整備は、10月末の完了を予定しています。
  - ◆ 利根川堤防に接続する自転車歩行者用道路は、来年3月の完成を目指して、11月に工事着手する予定です。
  - ◆ 防災センターは、再来年の3月の完成を目指して、第21分団器具置場協の空き地に整備を行っていきます。
- ※詳細なスケジュールは、決まり次第お知らせしていきます。また、スケジュールに「大きな変更があった場合は、改めて説明会を開催します。」

### ◎市街地液状化対策事業計画の策定状況

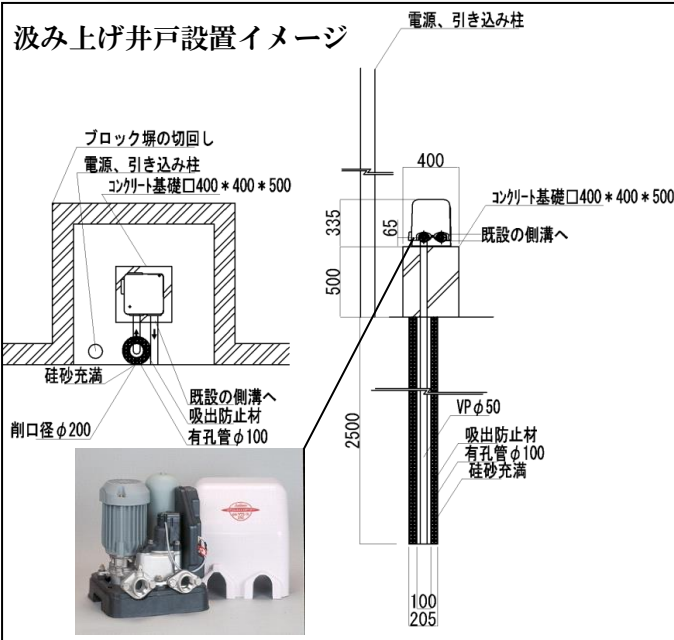
#### 市街地液状化対策事業とは？

東日本大震災において、液状化により著しい被害を受けた地域の再度災害の発生を抑制するため、道路・下水道等の公共施設と隣接宅地等との一体的な液状化対策を行うための事業です。事業に必要な経費については、国の財政支援を受けることができます。

布佐東部地区における液状化対策工法の考え方  
「液状化対策実証実験」の結果を踏まえ、液状化対策工法を、汲み上げ井戸方式による地下水位低下工法に決定しました。

液状化対策の概要  
液状化は、地下水位より下にある緩い砂の層で発生することから、地下水位を下げることで、液状化被害の危険性を軽減することができます。汲み上げ井戸方式による地下水位低下工法は、深さ2・5メートルの井戸を12・5ヘクタールの区域内に約150箇所設置して、各井戸に備え付けるポンプで水を汲み上げ、地下水位を現在より約1・5メートル下げます。

なお、汲み上げ井戸は、道路に面した宅地部分を借地して設置します。また、地下水位を効率良く低下させるため、対策範囲の外周部に鉄板等の止水矢板を設置します。



### 事業実施における個人の負担

工事費は、国の復興交付金を活用して、市が負担しますが、ポンプの維持管理費用は、所有する土地の面積に応じて、土地の権利者に負担していただきます。※50坪(約165㎡)の宅地で年間1万円程度 ※当初10年間は個人負担額の半分を市が補助 (検討中)

### 今後の予定

意向調査の結果を踏まえ、9月中に実施の可否を決定していきます。



### 意向調査にご協力をお願いします

市街地液状化対策事業の実施の可否を判断するため、現在、事業区域に土地を所有または借地している方を対象に、最終意向調査を実施しています。

意向調査は、8月31日までに回答をお願いしていますが、皆様方のご意向をできる限り反映させるため、回答が遅れている方には、9月1日以降、委託会社(千代田コンサルタント)から直接電話をさせていただきます。ありがとうございます。

また、電話連絡が困難な方には、意向調査書類を再度、郵送にて、お願いをさせていただく場合もありますので、ご協力の程、よろしくお願いたします。



手賀沼のうなぎちゃん

### 発行・問合せ先

我孫子市役所布佐東部地区復興対策室  
(住所) 我孫子市都10-1 (都交差点脇)  
(電話) 04-7185-2462